

ケインズ主義から見る政 府の失敗

第5回 比較政治経済分析

メニュー

- ケインズ主義経済管理の可能性
- 経済的要因
- 政治的要因
- 行政的要因

経済的要因

- 経済予測の可能性
- 景気循環とファインチューニング
- スタグフレーション
- 景気動向を知る
 - 景気動向指数

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di3.html#link000>

景気動向指数採用系列の新旧対照表

	旧系列（28系列）	現行系列（29系列）
先行系列	1.最終需要財在庫率指数（逆サイクル）	1.最終需要財在庫率指数（逆サイクル）
	2.鉱工業用生産財在庫率指数（逆サイクル）	2.鉱工業用生産財在庫率指数（逆サイクル）
	3.新規求人数（除学卒）	3.新規求人数（除学卒）
	4.実質機械受注（船舶・電力除く民需）	4.実質機械受注（製造業） 理由：景気の谷からの先行性が高まるため
	5.新設住宅着工床面積	5.新設住宅着工床面積
	6.消費者態度指数	6.消費者態度指数
	7.日経商品指数（42種総合）	7.日経商品指数（42種総合）
	8.長短金利差	8.マネースtock(M2)(前年同月比) 理由：景気循環との対応度が高まるため
	9.東証株価指数	9.東証株価指数
	10.投資環境指数（製造業）	10.投資環境指数（製造業）
	11.中小企業売上げ見通しDI	11.中小企業売上げ見通しDI
一致系列	1.生産指数（鉱工業）	1.生産指数（鉱工業）
	2.鉱工業用生産財出荷指数	2.鉱工業用生産財出荷指数
	3.大口電力使用量	除外 理由：生産動向との相関が弱まっているため
	4.耐久消費財出荷指数	3.耐久消費財出荷指数
	5.所定外労働時間指数（調査産業計）	4.所定外労働時間指数（調査産業計）
	6.投資財出荷指数（除輸送機械）	5.投資財出荷指数（除輸送機械）
	7.商業販売額（小売業、前年同月比）	6.商業販売額（小売業、前年同月比）
	8.商業販売額（卸売業、前年同月比）	7.商業販売額（卸売業、前年同月比）
	9.営業利益（全産業）	8.営業利益（全産業）
	10.中小企業出荷指数（製造業）	除外（平成29（2017）年1月分以降） 理由：公表休止のため
	11.有効求人倍率（除学卒）	9.有効求人倍率（除学卒）
遅行系列	1.第3次産業活動指数（対事業所サービス業）	1.第3次産業活動指数（対事業所サービス業）
	2.常用雇用指数（調査産業計、前年同月比）	2.常用雇用指数（調査産業計、前年同月比）
	3.実質法人企業設備投資（全産業）	3.実質法人企業設備投資（全産業）
	4.家計消費支出（勤労者世帯、名目、前年同月比）	4.家計消費支出（勤労者世帯、名目、前年同月比）
	5.法人税収入	5.法人税収入
	6.完全失業率（逆サイクル）	6.完全失業率（逆サイクル）
		7.きまって支給する給与（製造業、名目） 理由：景気の山谷からの遅行性が高いため
		8.消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比） 理由：景気の山谷からの遅行性が高いため
		9.最終需要財在庫指数 理由：景気の山谷からの遅行性が高いため

1.生産指数（鉱工業）

2.鉱工業用生産財出荷指数

除外

理由：生産動向との相関が弱まっているため

3.耐久消費財出荷指数

4.所定外労働時間指数（調査産業計）

5.投資財出荷指数（除輸送機械）

6.商業販売額（小売業、前年同月比）

7.商業販売額（卸売業、前年同月比）

8.営業利益（全産業）

除外（平成29（2017）年1月分以降）

理由：公表休止のため

9.有効求人倍率（除学卒）

日本の経験 1980年代後半

- バブルの発生と経済政策
 - 香西豊他「バブル期の金融政策とその反省」日本銀行金融研究所/金融研究/2000.12
- 円高不況と金融緩和
- 物価安定と資産バブルの発生

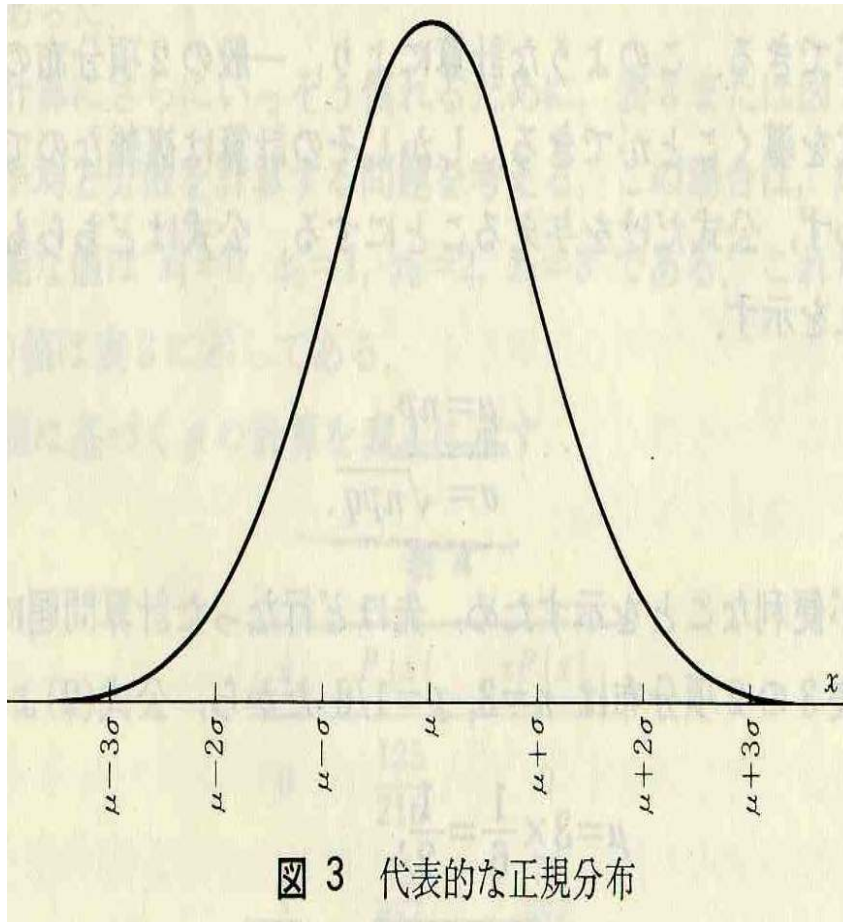
金融危機と予測

- Nassim Nicholas Taleb, *The Black Swan*, 2008. (『ブラック・スワン: 不確実性とリスクの本質』)
- リスクと不確実性
 - 一定の法則性に従う事象＝予測可能
 - 医者の世界
 - ランダム性 予測不可能
 - 投資家の世界
 - 勝者が総取りする世界

金融危機と予測

- マンデルブロ&ハドソン『禁断の市場 フラクタルでみるリスクとリターン』(2008年) *The Misbehavior of Markets: A Fractal View of Financial Turbulence*, 2006.
- アジア通貨危機(1997年)とロシア金融危機(1998年)が1年間に起こる。
- 金融工学の標準理論では10万年に一度。これが2回
- 正規分布を前提とする金融工学批判
- ベキ乗分布。フラクタル理論。

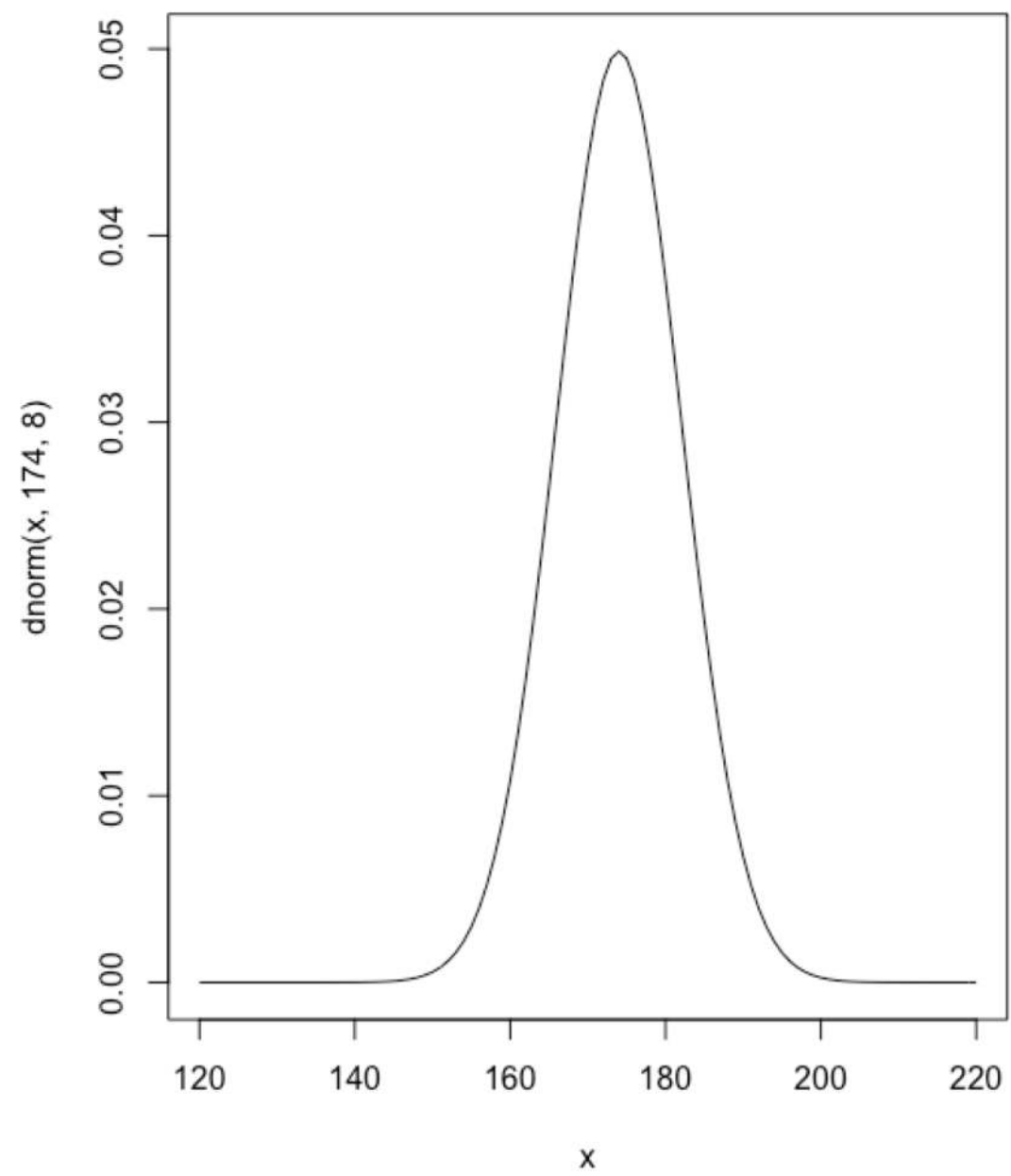
ガウスの発見：正規分布とは



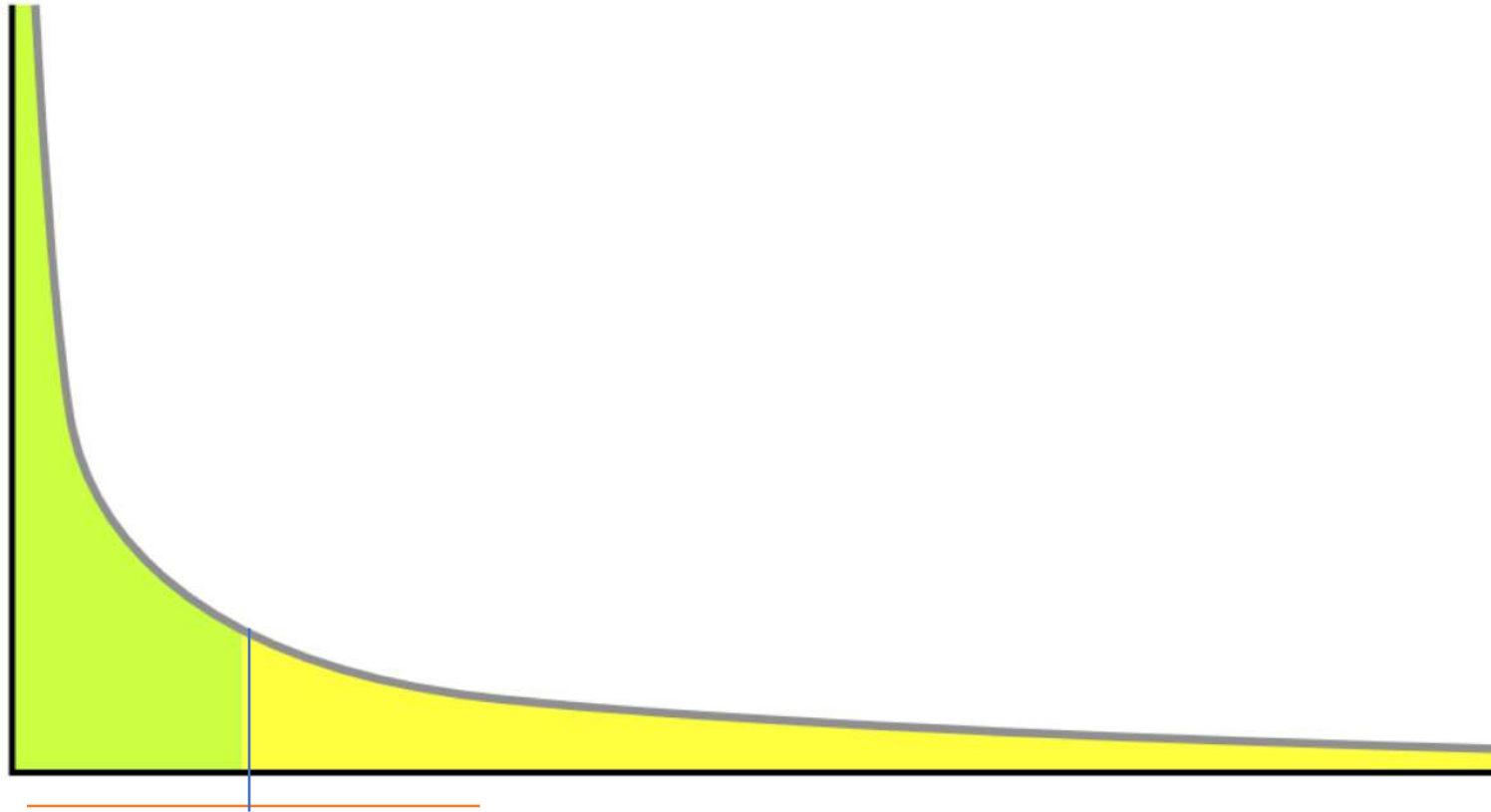
$\mu - \sigma$ と $\mu + \sigma$ の間の面積は68%。

$\mu - 2\sigma$ と $\mu + 2\sigma$ の間は95%。(四捨五入して)

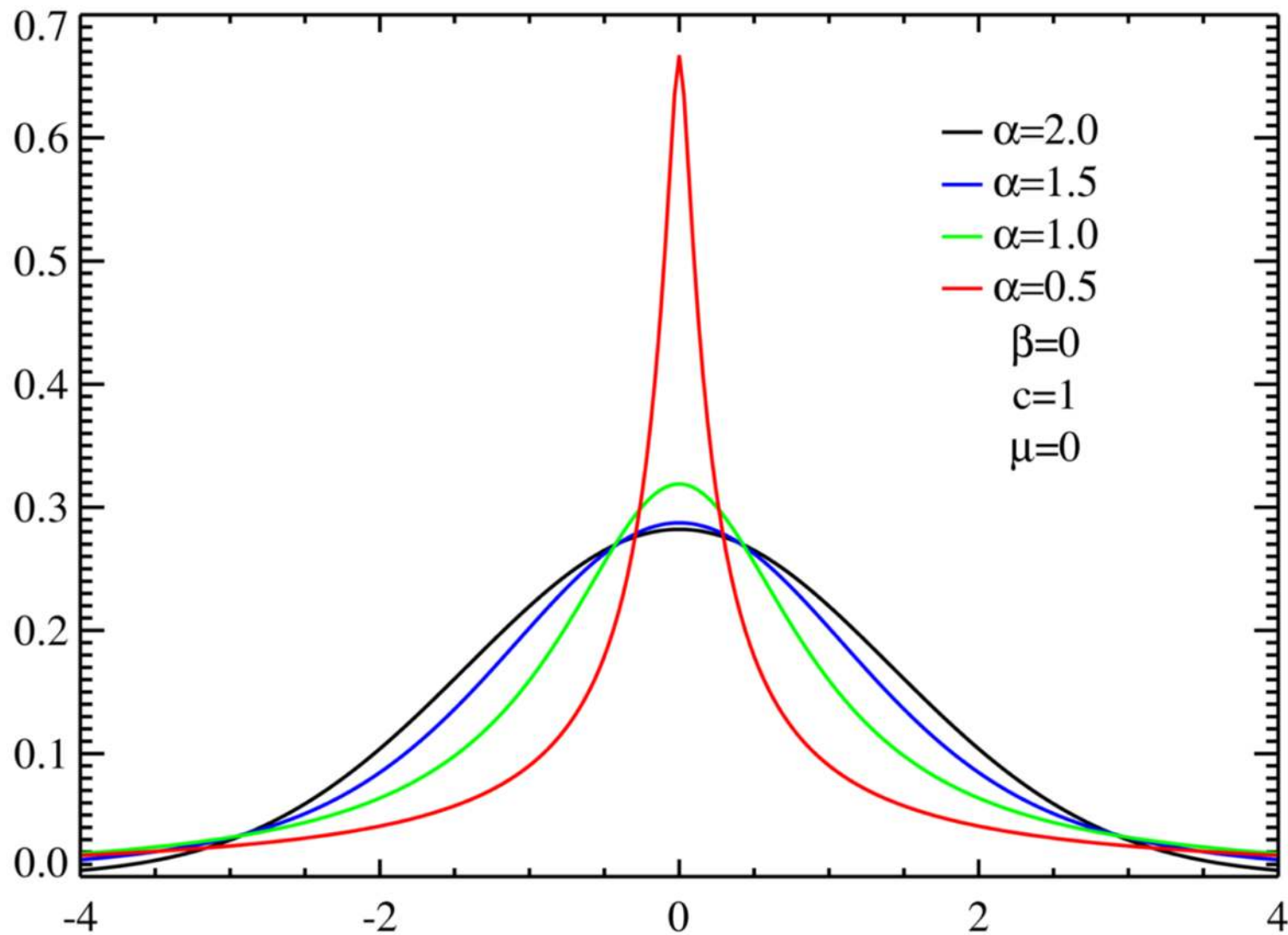
$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi}\sigma} e^{-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}}, \quad (-\infty < x < \infty)$$



べき分布



By User:Husky - Own work, Public Domain, <https://commons.wikimedia.org/w/index.php?curid=1449504>



安定分布

https://en.wikipedia.org/wiki/Stable_distribution

金融危機と予測

- Nouriel Roubini & S. Mihm, *Crisis Economics* 『大いなる不安定』 (2010年)
- ホワイトスワン？そこにある危機
- 予測可能な危機
- 市場を規制する制度の問題

安定化政策は可能か？

肯定派の次の課題

- 適切に政策を発動しうるか？
- ラグ：
 - 外部ラグ(効果ラグ)
 - 内部ラグ(実施ラグ)
- 財政政策と金融政策の非対称性

政治的要因

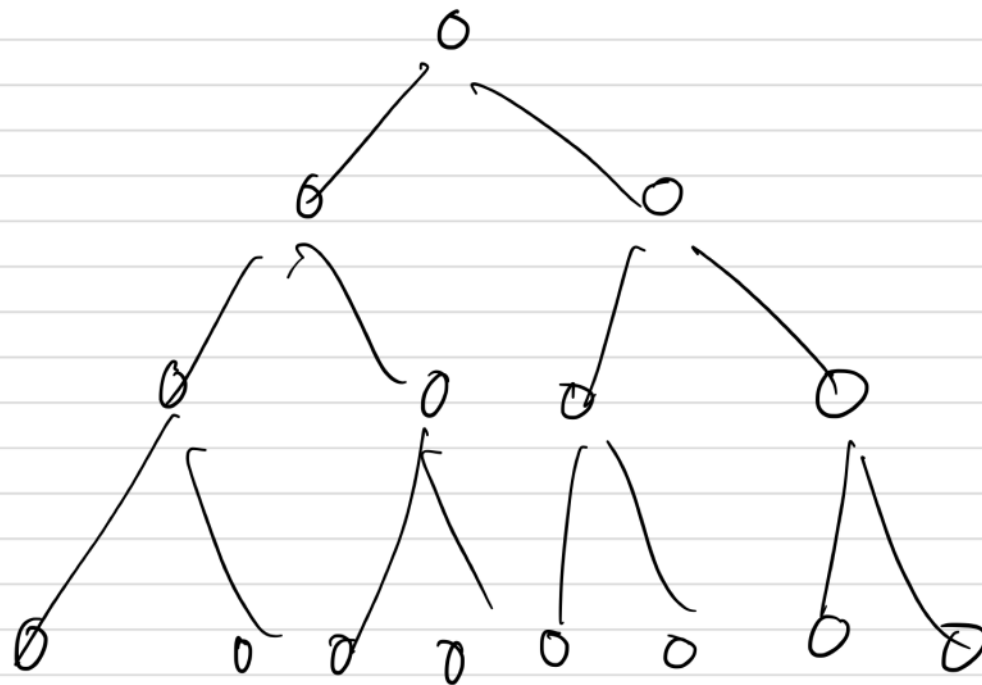
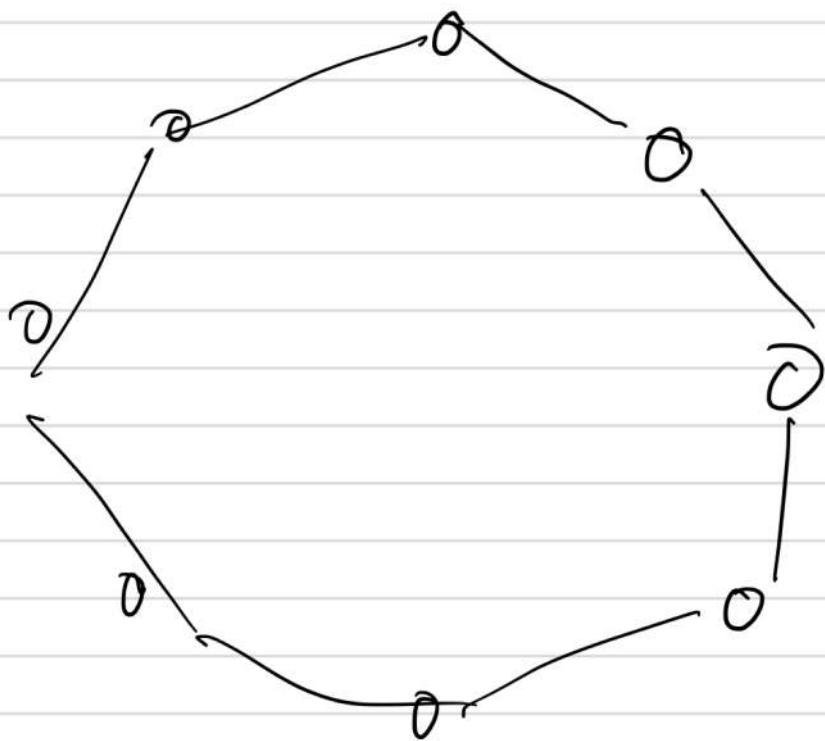
- 民主主義の失敗
 - ケインズ主義とハーヴェイロードの前提
 - マクロ経済管理の非対称性
 - 減税と増税
 - 赤字財政
 - 集中した具体的利益と拡散したコスト
 - 利益団体と既得権益
 - 復習動画 少数の優位

経済心理学トライアル

- 時間非整合性
 - 今日5000円貰う
 - 来週5500円貰う
 - 1月1日に5000円貰う
 - 1月7日に5500円貰う
- 50%の確率で1万円貰えるチケット
 - 自分が所有する場合いくら？
 - 他人が所有している場合いくら？

行政的要因

- 政策実施機関としての官僚制
- 分業の効率性(アダム・スミス)
- 合理的組織としての官僚制
 - マックス・ウェーバー
 - 集権化・命令の一元化・効率性
- 官僚制の逆機能: 心理学的説明
 - 目的の転移
- 官僚自体の選好 本人代理人問題



行政的要因

- 合理的選択理論と官僚制
 - ゴードン・タロック『官僚制の政治学』
 - アンソニー・ダウンス『官僚制の解剖』
- 利己心により動機づけられた合理的行為者としての官僚
- 捕虜理論
 - 鉄の三角同盟
- 予算最大化と非効率